

おれんじの風

題字 さかもと らら 坂本 蘭々さん(木葉小学校5年生)

玉東町社協だより

第168号

『おれんじの風』文字募集中!

特技・趣味のグループ等も受け付けています!

☎85-3150まで

令和5年3月15日

令和4年度 ファミリーサポートセンター

協力会員養成講座 閉講式!!



令和5年2月2日(木)の講座を最後に、1年間のファミリーサポート協力会員養成講座が終了しました。今年度は、10名の方が修了され、今後ファミサポ協力会員として活躍していただきます!

玉東町の子育てのために、今後ともお力添えの程よろしくお願いたします。



メールアドレス c-power.3150@poppy.ocn.ne.jp
玉東町社協 検索 ホームページでもご覧いただけます!

リレートーク Ver.74 &まさるくんの地域発掘探訪vol6

菊川 知穂さん (高月 在住) 山北保育園



Q:なぜ保育士さんになったのですか?

小さい頃から山北保育園の先生たちには自分自身お世話になっていて、心から愛されていると感じていました。そんな先生に私もなりたいたいと考え、今も楽しくお世話になっています。

Q:新しい園舎はどうですか?

とても広い園庭で子どもたちも、走りまわっています。床暖房もありがたく、特に未満児さんたちは安心して過ごせています。また、給食室からも子どもたちの様子を伺うことができるなど、園児さんを温かく見守ることができる工夫がたくさんあります。

Q:大切にしていることはどんなことですか?

子どもたちや保護者の皆さんに、とにかく笑顔で明るく接し、元気を届けることができるように頑張っています!



山北保育園
ホームページ



先日、熊本県立美術館分館で開催された「くまもと・子どもの美術展」に行ってきました。絵の才能がなく、美術館に無縁だった自分がかが我が子の作品を見に行くことになると思ってもみませんでした。

県内の小・中学生の作品はどれも表現や色使いがすばらしく、ありのままに物事をとらえていて、心を打たれました。

初心に戻り日々の生活を過ごして行きたいと思いました。

(誕生日は大谷(一穂))



玉葉会 一・二月句会

初鏡額の皴は母譲り
旗立てつ喧き歌う「紀元節」
まっさらの明日へ明日へと初暦
青空を下りてきて咲く枝垂梅
飛び立ちし鳥軽やかに春来る
初午や無住の社人の影
銀毛の逝きし猫似て猫柳
五感にも春の息吹のありにけり
雪女お国訛りで喋るらし
解体を決めし生家や梅ふふむ

(玉葉会は町内の俳句サークルです)

坂本 友春	ひろ子	松本 妙子	安田かし子	緒方 昌子
-------	-----	-------	-------	-------

寄付御礼

香典返し

- (12月受付分)
 - 木代成清美様 浦田
 - (亡義母 サツキ)
- (1月受付分)
 - 右田 浩己様 大城寺
 - (亡母 トシエ)
- (2月受付分)
 - 村上ワカ子様 西安寺
 - (亡夫 徳一)

物品寄付

古切手収集

- (有)鹿子木輪業様
- 小森 悦子様 白木



〈ふくしの総合相談〉

- ・障がい者の生活や虐待について
- ・成年後見制度について
- ・生活上の困りごとについて
- ・ボランティア活動に関する相談

〈玉東町生活よりそいセンター〉

- ・家計のやりくりの不安
- ・子どものひきこもりで心配
- ・仕事がなかなか見つからない など

玉東町社会福祉協議会 ☎0968-85-3150

土曜日・祝日(8:30~17:00)も受付します。

玉東町シルバー人材センター

会員募集



担当 谷口

☎0968-85-6305

新聞棒で肩と肩甲骨のエクササイズ



◀自宅にある新聞紙1日分を丸めて使います



▲手をのばし高さを維持したまま曲げのばし肘は体のうしろまで曲げるのがポイント



▲右手～左手、左手～右手背中でバトンタッチ



はぶの
インスタ
みてはいいよ!

はぶの きづくりごはん紹介!



◀ご飯
・鱈の胡麻風味焼
・大根サラダ
・すまし汁



▶ご飯
・豚肉の葉味かけ
・卵の花
・ミルクスープ



◀ご飯
・ハンバーグ(デミグラスソース)
・大根の炒り煮
・洋風かき玉汁

毎食スタッフが愛情込めて手作りしています。カロリー、食べやすさ、味付けなどにも心掛けています。

令和4年度ファミリーサポートセンター 協力会員養成講座 無事に終了しました



第10回 「安全と事故」

木葉昭和児童園の主任保育士の保田晃子先生に来て頂き、講義をしていただきました。保育園での具体的な話をもとに、「安全と事故」について学びを深めました。

参加者の感想

- ・子どもの安心・安全を守りながら、保育の先生たちの努力がすごいなあと感じました。「子どもが1番・子どもが真ん中・子どもに真っすぐ」すごく良い言葉ですね。
- ・「身を守る教育」これは、小学生になっても必要だと思え、必要なケガもあること、ケガでの学びを改めて考える事ができました。



第11回 ・メディアについて ・玉東子育て支援の会 たんぽぽについて

テレビやスマホなど様々なメディア機器が身近になっている現代。メディアの影響について知ること、子育てにおける子どもとの関わりを見直すきっかけとなりました。また、「子育て支援の会たんぽぽについて」では、たんぽぽの代表である清田峯子さんに来ていただき、お話をさせていただきました。

参加者の感想

- ・メディアが子どもへ与える影響について、具体的に学ぶことができた。テレビやゲームばかりにならないよう、絵本を読む時間、会話や遊びを楽しむ時間を大切にしていきたい。
- ・たんぽぽの会の活動を聞いて、少子化が進んでいる中、地域のみんで子どもたちを育てようという感じが素敵でした。



～1年間の講座受講を終えて～

1年間をかけて、子育てについて広く深く学びました。コロナの影響で、2年間開講できていなかったのですが、令和4年度は無事に開講でき、少しでも玉東町の子育て力アップにつながったのではないかと思います。受講していただいた皆さん、本当に1年間ありがとうございました。



前田移津行会長から、一人一人修了証を渡していただきました。

参加者の感想

- ・子どもへの愛情のかけかた、自分自身のリフレッシュ法、障がい、病気、応急手当、安全な子育てのための話など、幅広く学べ、とても勉強になりました。頂いた資料は、この先悩んだり、迷ったりした時に、立ち返ると思います。有意義な時間をありがとうございました。
- ・講座を受けるキッカケは、ファミサポ協力会員になるためでしたが、講座ごとに素晴らしい先生方が来ていただいて、毎回毎回たくさんの学びがあり、大変なになりました。ありがとうございました。



ひまわりの花いっぱい運動



はぶのの畑でたくさんとれました! おすそ分けしますので声かけてくださいね～

介護ホームはぶの発

平和への願いを込めて

千羽鶴プロジェクト



戦争経験者の利用者さんたちの発案で、少しずつはじめました。脳トレもかねてコツコツと。



ほんわかありがとう エピソード

春に足の手術のため入院をした。入院当日、コロナ検査からスタート。その時、同じく入院をされるある老夫婦と検査結果が出るまで病棟前で待つという説明を受け、その場所に移動する時、奥さんは、杖をついておられ歩くのがしんどそう…声を掛ける、2、3日前に骨折のギブスを外したばかりとのこと。今回の入院はご主人だった。看護師さんが車いすを持ってきて3階の病棟前まで一緒に移動。自然と老夫婦との会話が始まった。



みかまさるの母

『ありがとうの種類』

今日の私は仕事のような気分になって頃聴。2人暮らしで買物の不便さ、子どもさんは、遠方で頼れないなどたくさん話された。その後、私の入院前の聞き取りがあったから部屋へ移動する時に奥さんから、「たくさん聞いてくれてありがとう。あなたの手術は明日ね。頑張ってください」と言ってもらい「ありがとう」で別れた。

その後、麻酔科の先生の説明に行き、なんと6年前の手術の時の担当の先生だった。そこで、6年前の「ありがとう」を伝えることができた。次の日、予定通り手術が終わり、朝まで元気に歩くことができた。自分の足が重くて手を使わないと動かせない。術後で麻酔が効いてまだきつい時、看護師さんが分単位で様子を見に来てくれる。何回「ありがとう」が言えたのだろうか。

忘れもしない5月5日の病院のお昼ごはん。お子様ランチのような食事が運ばれてきた。個室だったので「すごい」と独り言。カードも添えられている。「季節のお料理が皆様の力になりますように…」なんてだろう。なんか感動して、うつらうつら。夜になってもその感動が残っているのがわかる。持っていた紙とペンでお礼の手紙を書いた。考えてい

ないのに、なぜだか文章がスラスラと出てきて書き上げた。調理をしてもらっている方へ届けてもらった。看護師さんのように会ってお礼を言うことができないからの想いで書いた。次の日、栄養部の方がわざわざ会いに来てくれた。私は、感謝の手紙を出したのに、逆に感謝された。『ゴールデンウィーク中なのに、ほぼ毎日私服で様子を見に来てくれた主治医の先生』『困っていることない?』と気さくに声をかけてくれる師長さん。ユニークで、ちょっとしたこと気が付いてくれる男性・女性の看護師さん。食事や、介助浴のお世話をしてくれた方、わかりやすく時には、やる気スイッチをいれてくれたリハビリの先生方、術後にお腹いっぱいになるくらい量の薬の調整をしてくれた薬剤師さん、退院まで感謝の日々。たくさん素直な「ありがとう」が言える私になった。

そして、退院後の支払いに行った時、あの老夫婦の奥さんとぼつたり会い「あなたに元気に歩いていてうれしい」と喜んでくれた。そして、またそのまま傾聴へ…(笑)お互い「ありがとう」で別れた。

その後、仕事にも復帰し、受けた講座の中で「ありがとうの種類をしよう」という内容があった。うんうん…と心からうなずけた。とても納得できたから…



57歳の娘さん

私の母は、18歳上のとてもかわいい小太りケイ子さん? いや、かなり太った体型のケイ子さんで、私が職業から体調を伺うと、「それがタイ、この前靴はいて、階段降りよつたら、最後の差を踏み外して、つこけたったい…つこけた直ぐはあ痛〜! と、叫び手足の動くことを確認した瞬間、”母ちゃん、丈夫な身体に産んでくれて有難う♡”と、天国のお婆ちゃんに感謝したそうです。

それを聞いた私はとっさに、「私こそケイ子さんの子で良かった〜!」と、直接伝えることができ、全ては天国のお婆あちゃんのお陰と気が付かれました。私の可愛らしい母のエピソードでした。以上57歳の娘でした。



57歳の娘さん

『母ちゃん、ありがとう』



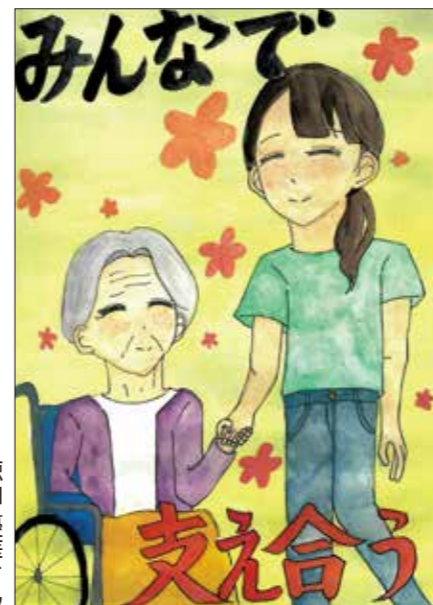
令和4年度第35回 福祉大会 共同募金委員会企画

伝えようあなたのこころ

vol.2

エピソードアワード作品 報告!!

今回は、山北小学校6年生のキッズサポーターの作品と、ほんわかありがとうエピソード、子育てやさしいまなざしエピソードを紹介します!



徳山優華さん

山北小6年生キッズ認知症サポーター 認知症啓発ポスター・標語



声かけが 私たちから プレゼント
岩野杏南

周りみて こまごまこまごま 声かけよう
今村 康太 良

何度聞かれても 優しく答えるよ
何度でも 坂村優奈

大丈夫 困っていても 僕が助ける
坂本詩音

認知症に かわても俺が守るから 安心してね 元気な日々
山野 裕慎

おじいちゃん さっき食べたよ 夜ご飯 優しい言葉で
山野 裕慎

ぼくたちが 大丈夫 寺本 結喜



玉田佳子さん

助けよう 困っているなら おたかきに
松永空桜

あいさつひとつで 相手も自分も 元気になる
松永優斗

嬉しいな 比目の助けになる バリアフリー 相良 春人



みかちゃんの
enjoy
ボランティア
vol.1・3

玉東町ボランティア 連絡協議会活動報告

12/10 火の国ボランティア
フェスティバルWeb開催
～新たな絆をここからin葦水～



▶声北サテライトオフィス
田浦よりオンライン配信



▲玉東町福祉センターにて
玉東ボランティア連の参加者が視聴

令和2年、令和3年と延期となっていた火の国ボランティアフェスティバルin葦水がYouTubeオンライン配信にて開催されました。各市町のボランティア団体の紹介動画、「令和2年7月豪雨災害を振り返って」と題し、パネルディスカッションが実施されました。

1/28 荒尾・玉名ブロック
ボランティア連絡協議会
新年交流会



令和元年度ぶりに開催された新年交流会。100名弱のボランティアが参加した今回は、講師に東洋羽毛九州販売株式会社の上級睡眠指導士久保工様による「睡眠セミナー」～ボランティア活動のため、あなたのために～と題した研修会が行われました。

2/9 地域福祉フォーラム
動画視聴研修

テーマ

地域の課題解決に向けた住民主体の取り組みを考える
～あなたが主役！一人ひとりが輝く感動の地域づくり～



熊本県社会福祉協議会主催でオンデマンドによる動画配信があり、視聴研修会を行いました。講師の鹿児島県鹿屋市串良町柳谷自治公民館長の豊重哲郎様の「地域再生&創生～行政に頼らない感動の地域づくり～」についてなど熱い思いが伝わりました。

「ボランティアを
したい！」
など



ボランティアについて
のお問い合わせは

玉東町社会福祉協議会
☎85-3150

子育てやさしい まなざしエピソード

おそろいの えくぼが光る
4人姉妹 私の自慢の宝物
匿名希望さん

私が「おかえり」って言う前に「ただいま」って言ってくれる
私が「美味しい？」って聞く前に「美味しい」って言ってくれる
私が「大好きだよ」って伝える前に「大好きだよ」って言ってくれる
こんな幸せ 9年前は知らなかったな
5年後あなたが「くそババア」って言う前に 今度は私から伝えるね
「生まれてきてくれてありがとう」「あなたは宝物だよ」ってね



平野 彩加さん(福岡県)

『つながる子育て』

龍 あずささん(高月)

私の家族は、主人、中3の長男、中1の次男、小4の長女、年少の3男、2歳になる4男と私の7人です。我が家の長男は、3歳の時に他の子どもたちと何か違うと相談し、親子療育に通い始め、4歳の時に発達障がい診断を受けました。不安な中、療育は丁寧な子育てと教えていただき、長男に感覚過敏があること、相手の気持ちだけではなく、自分の気持ちや感情の出し方がわからず、とても困っていたことなど色々と言ってくれました。私よりも先生から伝えてもらった方がスムーズに行くこともあり、もどかしくなることもありましたが、時間をかけて成長する長男の「できた」に毎回たくさんの方と感動できたことはとても幸せでした。この経験を通して自分だけで子育てしなくてもいい、頼つてもいいことも教えられました。

今、長男は特別心配することもなく、時には私を優しく励ましてくれる頼れる存在へと成長しました。からかわれやすかった長男を「お兄ちゃんをいじめるな」と次男が守ってくれ、兄弟も優しく育ってくれています。長女が生まれ、子どもは3人と思っていました、生み出すことができなかつた命を授かり、改めて主人と話をし(4・5)人目を妊娠。幼稚園のママ友から自宅出産の話聞いて、家族で迎える出産をしたいと準備を始めました。助産師さんとの1対1の妊婦健診で、両親や家族、自分の出産や育ち方、主人との出会いや関係性を振り返り、自分と向き合いながら迎えた出産。自然の流れに身を任せ、生まれてくる命の温かさ、エネルギーを家族と共に全身で感じ、子どもたちにとつても自分の命相手の命の尊さを感じる、より特別な経験になったと思います。5(6)人目も自宅出産で迎えることができ、妊娠・出産・産後と家族、mY助産師、ドゥーラの友人、仲間、産後ケア(行政支援)、保育園、地域の方々たくさんの方に助けられました。今もご近所さんや地域の中で子どもたちはたくさん声をかけていただき、その成長を見守り、一緒に喜んでくださる方々がいることをとても嬉しく思います。

『伝えようあなたのこころエピソードアワード』へのご協力、ありがとうございました！

実習生の感想

実習期間

1月31日～3月3日

九州看護福祉大学
看護福祉学部
社会福祉学科 3年

植田 円香 (八代市出身)



23日間の実習、大変お世話になりました。始まる前はドキドキでしたが始めてみると、毎日が学びに満ちて、あっという間の23日間でした。玉東町だからこそのきた多くの経験があり、玉東町で実習をすることができて本当に良かったと思います。今回の実習での経験を生かし、相手の立場に立って考え、行動することができる社会福祉士を目指したいです。お世話になった皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。